

都道府県名：北海道	市町村名：美深町・音威子府村
<p>1. 活動名 総合的な学習の時間</p>	
<p>2. 取組の背景、目的 北海道では、地球環境保全において重要な位置づけにある「森林」を理解してもらうため、様々な機会において「森林環境」の基本的な知識の学習・啓蒙・普及に努めている。 上川総合振興局北部森林室でも、地域の「森林環境」意識の高揚のため各団体及び要望のある学校に対し支援協力を実施してきた。特に小・中学校においては、柔軟な心身を受け入れる時期でもあり、将来に生かされるよう力を入れている。</p>	
<p>3. 実施主体 北海道上川総合振興局北部森林室</p>	
<p>4. 取組の概要 美深町・音威子府村の小・中学校において毎年継続しておこなっている「総合的な学習の時間」における森林・林業の授業で、平成22年度は美深小学校・美深中学校・美深仁宇布小学校・音威子府小学校の4校において室内及び道有林内で授業を計9回実施した。 小学生については、森の仕組みやはたらき、林業の役割を中心に説明をおこない、野外では樹木・草本類の観察、木の実の採取、笹舟の作り方と実際に作った笹舟を流し溪流に足をつけて自然体感をした。冬期においては、“かんじき、体験と樹木測定（胸高直径・樹高）など、自然と親しむことを重点的におこなった。また、中学生においては、森の多面的機能である治山・治水・光合成・動植物の棲み家・木材利用などについて掘り下げて説明し、野外では前年植菌したシイタケほだ木の移動並びに秋のシイタケ収穫体験、原生保存林内での森の仕組みの説明を中心に体験授業をおこなった。 なお、参加人数は、美深中学校93名（生徒86名・教師7名）、美深小学校35名（生徒32名・教師3名）、美深仁宇布小学校5名（生徒2名・教師3名）、音威子府小学校29名（生徒21名・教師8名）の計162名にのぼる。</p>	
<p>5. 支援事業（国、都道府県、各種団体等から支援、補助を受けている事業名、及び補助率を記入して下さい。） 自主事業</p>	
<p>6. 取組等についての成果や課題 基本として、「森林のはたらき」を第一に置いているが、幅広い知識と道徳をもった人材を育てる意味からも、自然を教えるうえでスタートとなる宇宙の誕生から地球の誕生そして動植物を含めた地球の歴史及び樹木の過去の変遷から今日に至る現状と人間としての森林への関わり方やこれからの方向性並びに木の優しさが人の心の優しさを育む要因になることまで、分野を広めて林業体験学習を行っている。 枝打ちやキノコの植菌などの林内等の屋外実習では指導監督する人員が不足がちな面が見られるので、今後は森林サポーター等の協力を頂くため23年度当初に森林サポーター向けの研修会を準備中である。</p>	



溪流での水遊び風景
(音威子府小学校の全学年)



かんじき体験の学習風景
(美深小学校の4学年)



シイタケほだ木の運搬風景
(美深中学校の2学年)



仁宇布原生保存林内での森林学習風景
(美深中学校の3学年)



森林学習の風景
(美深仁宇布小学校の3・6学年)